

2016/12/11 青島太平洋マラソン 参戦記

岡本 暢

宮崎県南東平野部。宮崎神宮と青島神社を繋ぐ[神様の櫛]的な素敵なレース。しかも今年で30回のメモリアル。

ずっと出場機会を窺っていましたが、出るなら今年だ！と、空港閉鎖になる位降り続く大雪の札幌から逃げる様に南国、宮崎へ。

前日土曜日に宮崎入り。

市内のどこもかしこも、ヤシの木やソテツみたいなのが生えてて南国を感じワクワク(笑)

こんなにあったかいのに札幌とおんなじかっこしてる人たくさん！

宮崎地鶏でお腹満たして準備万端！

レース前やからアルコール吞めずで残念！



12月11日午前9時、サンマリスタジアム宮崎発着で今年最終戦に挑みました。号砲と共にスタート。

快晴。微風。気温8℃。Aブロックスタートでタイムロスわずか5秒。これ以上ない絶好のコンディション。失敗レースの言い訳を出来る要素…全くなし！

が、やる気とは裏腹にどうもペースがあがらない。

前半抑えて軽い感じで入るつもりではいたけれど、それにしても様子が変。

その理由が何かは見当がついてはいた(実は前日に発熱してました…)けれど、「気のせい気のせい」と足を運ぶ。

スタートしてからコースは宮崎市街地へ向かう。たいしたアップダウンもなく、つくばほどではないが十分過ぎる高速コース。

大淀川、県庁前、駅前と目抜き通りの橋通りを駆け抜ける気持ち良さ。沿道の声援も素晴らしい。こんな心まで暖まるレース、今まで出なかったの勿体ない！

宮崎神宮前で折り返して、橋通りをふたたびスタジアム方面へ戻る。

スムーズに身体が動かない。

20km手前辺りから、遅れてる感覚はあった。疲れてるとか辛いとかではなくてなんか力が入らない感じ。



意識的にペースを上げる(実際には上がっていなかったのだが)。予定よりも早い始動だが致し方あるまい。

ガーミンの調子も非常に悪かった。

距離表示もペースもはちゃめちゃ。キロ4で走ってるかと思えば、次の瞬間にはキロ2.5を示す。オリンピック選手やあるまいし、そんなペースで走れるかーい！全く頼りに出来ない状態だったので、体感のみで走っていたのが仇となった。

30kmからペースアップ、40kmからはインターバル的にいくと決めていた。なのに全く加速出来なかった。ハンガーノックも、心肺的ダメージもなかった。あとで記録を見て判明したのだが、ビルドアップしていたつもりが…まさかのビルドダウンと言う事実。

32km地点でスタジアムをスルーして(精神的にはきついよね…)、海岸沿いに青島神社方面へ。一気に受ける海からの向風。しかも強い！

折り返して残り5km程。残りをどんなに頑張っても、もう目標タイムには届かないのがわかっていながらも、往生際悪く粘って走る。けど、スタートから3時間経過を示したのを見た時、やっぱり気持ちは折れたかな。

3時間2分台でフィニッシュ。

大阪に続いて連チャンでなんちゅう中途半端な！今年はサブスリーならず。相変わらずのトレーニング不足です。自己嫌悪。

先の彩さんみたく、同じ宮崎で輝きたかったですが残念な結果で2016年は終わりました。

しかも帰りの経由地、羽田。札幌の大雪の影響で搭乗予定機欠航(しかも最終便)のおまけつき。思わぬ形での東京ステイ。

こんなことなら宮崎でもう一泊しときゃよかった…と、ぼやきながら翌朝始発で札幌へ帰還。そのまま出勤怒濤の一日でした。

天罰かな。

来年2月出場予定の京都マラソンの調整だったと思えば上出来？
気持ち切り替えて…やり直し、やり直しっ！